

山陽教区教化委員会社会問題部門主催



教師陞補対象
研修会です！



社会問題学習会

「様々に起こる社会問題に対して、私たちはどのように受け止め、考え、行動していったらいいのだろうか？」

「私たちにとって重要な問題が起こっているにもかかわらず、知らないままできて、見過ごしてしまっていないだろうか？」

そのような疑問を宗門内外から受け、昨年から「社会問題学習会」を始めました。

今年度は、「沖縄基地問題」をテーマに、高橋哲哉先生からお話をいただき、学習を深めていきたいと思えます。

初めての方もぜひご参加ください。

【日時】 2018年9月14日（金）14：00～17：00
（13：30より受付）

【会場】 教区同朋会館（姫路）講堂 兵庫県姫路市地内町1番地

【講師】 高橋 哲哉 氏（哲学者/東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授）

【テーマ】 沖縄基地問題

【日程】 13：30～ 受付
14：00～ 開会(真宗宗歌・挨拶)
14：10～ 講義（途中休憩有）
15：40～ 休憩
15：55～ 全体座談
16：55～ 閉会(挨拶・恩徳讃)
17：00 終了

【参加費】 無 料 ※どなたでもご参加いただけます。
※終了後、懇親会がございます。(希望者のみ、別途参加費要)

山陽教区教化委員会社会問題部門
社会問題学習会
「沖縄基地問題」

講師紹介

たかはしてつや
高橋哲哉氏

哲学者/東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授

著書：『歴史／修正主義』（岩波書店）・『靖国問題』（ちくま新書）・
『教育と国家』（講談社現代新書）・『国家と犠牲』（NHKブックス）
『沖縄の米軍基地 - 「県外移設」を考える-』（集英社新書）
『犠牲のシステム 福島・沖縄』（集英社新書）他

講師 高橋哲哉先生より

沖縄に米軍基地が過度に集中し、さらに新基地建設が強行されようとしている中で、沖縄の人々の間には、本土による沖縄差別だという声が強まっています。

本土に住む私たち一人ひとりには、沖縄を差別している実感はないでしょう。それでも沖縄は、明らかに日米両国による「構造的差別」を受けており、本土に住む私たちはその構造を支えているのです。この構造的差別を終わらせるための思想として、私は基地引き取り論を提唱してきました。そして現在、本土の各地には、沖縄から基地を引き取る市民運動も広がってきました。しかしながら、基地を本土に引き取ることは、軍事基地を容認することではないか、それは戦後日本の平和主義、何より沖縄の平和思想に反するのではないか、という異論にも根強いものがあります。

差別の解消と、平和の実現と。この二つのことは、はたして矛盾するのでしょうか。この問題をできるだけ掘り下げて、一緒に考えてみたいと思います。

山陽教区教化委員会社会問題部門
お問い合わせ 真宗大谷派（東本願寺）山陽教務所
TEL : 079-292-3690
FAX : 079-292-1747
メール : sanyo@higashihonganji.or.jp
H P : <http://www.sanyo-kyoku.jp/wp/>



めざメェくん・あゆモウちゃん



山陽教区HP

山陽教区のホームページから研修会などのチラシや申込用紙等をダウンロードできます！

山陽教区

検索

